

渋沢栄一翁が提唱する『合本主義＝義利合一』を体得して、100年企業になる時代がきている(2)
はやぶさ2・609号 2023年7月14日(金)

%company%

%free1%

%free2%

%name_sama%

■ 渋沢栄一翁が提唱した「合本主義」を経営活動で実践しなければ、
企業は存続できない時代を向かえております。
国際情勢も国内の国民を幸せにする施策も、格差を拡大するばかりです。
国のリーダー達にも、企業の経営者にも、
「義利合一」の理念と行動(この二つを合わせて考働と云います)しなければ
国民を幸せにし、生命の安全も次世代の生活も保障されません。

・ そうした視座から『合本主義「義利合一」の時代がきている』

Amazon 電子書籍版を書きました。

「理念経営のすすめ方」の本を書いてから、30年経ち

「理念経営」を更に推し進め、

中小企業・小規模企業で働く人々や経営者やステークホルダーの方々が

「豊かになり・幸せ」になってほしいのです。

◆ 合本主義(がっぼんしゅぎ)とは

・「資本主義」と「合本主義」とはその理念が原点のところで、異なっているのです。

資本主義は、株主(資本)のための投資であり、リターンが目的です。

発生の原点に戻れば明白で、

大航海時代における再投資できるリターンの資金運用であり、

欧米では今もこの考えが主流です。

合本主義は、次の項目を大事にしています。

1. 事業を起こす目的が、国家社会に貢献するか

2. 参加したすべてのステークホルダー、特に従業員を幸せにするか

-それは、明らかに「拝金主義的資本主義」とは、一線を画すことなのです。

◆ 義利合一(ぎりごういつ) とは

渋沢翁が「合本主義」の存在理念とした言葉で、
「義」は仁義・愛を表し、
「利」は経済活動における「適正な利潤」を得て循環させて、
社会・邦民を幸せにする源泉とする。

-反対語は拝金主義的資本主義で、利益のためには手段を選ばず、
他人や社会、地球環境を傷つけることもいとわない経済活動。
理念経営の「存在理念」は「義利合一」に「宇宙の真理と地球環境」への理念を付加したものです。

*著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本 靖夫

渋沢栄一翁が提唱する『合本主義＝義利合一』を体得して、100年企業になる時代がきている
◇中小企業・小規模企業の経営支援の現場における、50年間の「伴走者」の経験知でお話します。

- ◆第1回 『合本主義「義利合一」の時代がきている』Amazon電子書籍版の紹介
- ◆第2回 経営の無免許運転で、市場(路上)に出れば、事故を誘発する
- ◆第3回 赤字でも「キャッシュ」があれば倒産しない。人時生産性No.1がキャッシュを生むコツ
- ◆第4回 ローコスト・高品質トータル経営支援「コンビニ・クリニック」の効果と事例

~~~~~  
第2回 経営の無免許運転で、市場(路上)に出れば、事故を誘発する

この本はあなたのビジョン実現のガイドブックです。読んでいただきたい方は

\*第1回の再掲です

- ▶ 20年後、30年後も持続を願う経営者
- ▶ 後継者として、企業経営を継承する経営者・子息等
- ▶ スタートアップするので「経営の基本」と心構えを身に付けたい
- ▶ 経営支援家をライフワークとして、社会貢献をしたい

【目次】

- ▶その第1は、「経営会計」知識をしっかりと覚える(アスリートのスコアの例)
- ▶自動車教習所でしっかりと自動車運転の基本を覚え「運転免許」を取得するように、  
企業経営の基本の能力を経営者になる前に訓練をする
- ▶企業経営を、スキーツアーに例えて説明すると

▶その第1は、「経営会計」知識をしっかりと覚える（アスリートのスコアの例）

・経営会計とは＝管理会計の範疇でほぼ同義語ですが私の造語です  
小規模企業のほとんど、中小企業の大多数は、会計と言えば「税務会計」と思っていますが、  
株式上場企業や高収益企業は「税務会計」では、経営はしていません。  
企業経営は「経営会計」でやらないと、「ガソリンに軽油を混ぜて」運転するのと同じように、  
企業経営を滑らかに運転できないことになります。

・「経営会計」はこの「管理会計」とほぼ同じ働きですが、  
「管理会計」は過去のデータを中心に「管理」のための情報のイメージがありますので  
「経営会計」と命名して、「企業経営のための会計」を私の経営支援では使っています。

・企業経営では、取引に対して細かく「記録」しますが、その数字には二つの側面があります。

- ◆データ……単なる事実の記録数字
- ◆スコア……データを意思決定する「情報」に加工してある

ですが、「記録＝データ」のままでは、経営の意思決定に役立ちません。

自社の「強み・弱み」を分析して「勝利のためにすべきことはなにか？」  
それが「ビジネス・スコア」で、データをベースにして現場で活用しやすく、  
次のシーン（試合）に備えた「情報」を提供するチーム（企業）は、負けないのです。

・スポーツでチャンピオン（勝者）になるには、例えば野球でもサッカーでもゴルフでも  
細かくスコアをつけて、戦況を記録し分析していますね。

- ・野球はイニング毎に・・・
- ・サッカーはハーフタイム毎に・・・
- ・ゴルフは、ホール毎に・・・

そして、リアルタイム（即時）で、「目利き」がつけて分析して  
勝利の作戦と、今後の基礎体力の強化に役立てているのです。

「経営会計」の目的と機能も同じで、「企業経営の身体能力・技能・作戦」のためのスコアーなのです。

▶自動車教習所でしっかりと自動車運転の基本を覚え「運転免許」を取得するように

企業経営の基本の能力を経営者になる前に訓練をする

- 自動車運転の目的は、移動・運搬手段としては
  - (1) 安全に
  - (2) 快適に
  - (3) 経済的コストで
  - (4) 必要な時間帯に到着する

の条件を満たして、ドライブしますね。企業経営も同じです。

◆そのために、最低限の訓練を学習して「体得＝身につける」ことは

\*自動車の機能とメカニズムを知る：

- 自動車は、自分で手入れするのは、外装や内装の掃除くらいで、ガソリン補給、タイヤの空気圧等はSSで行い。整備・車検等は専門業者に依頼しますが、「異常を感じる感覚」は覚えておいた方が安全のためには欠かせない知識です。

• 教習所では、コース内のS字・車庫入れ・坂道発進・踏切の渡り方等の

ハンドリングやブレーキ（エンジンプレーキ）の使い方、

そしてアクセルの使い方等を確実にできるまで訓練します。

最近はオートマチック車がほとんどでクラッチ操作はマニアのみですね。

\*道路交通法（市場のルール）を身に付けるには、一定の経験時間を必要としますが、

教習所では基本的なことを学び、仮免許をもらって路上で訓練します。

運転能力はもちろんですが、路上運転では「あおり運転」等ドライバーの理念が問われるのです。

ましてや、高速道路での運転は未熟の内に参入すれば、逆走等をして大事故を誘発しかねません。

\* 「企業経営のメカニズムと市場ルール」の基本を「体得」する、  
その教材が『合本主義「義利合一」の時代がきている』ですので、  
問題意識がある方は是非お読みになってください。

▶ 企業経営をスキーツアーに例えて説明すると

\* 経営資源を次のように自動車運転に例えてみました。

- 1) 人＝ドライバー（経営者）、従業員、  
お客さま、家族
- 2) モノ＝車体・エンジン・駆動機構・車輪・タイヤ・発電機・蓄電池・  
ラジエーター系・エアコン・ナビゲーター等のハード系
- 3) 金＝ガソリン・燃料
- 4) “しくみ”＝制御系のマイコンシステム・安全機構・ナビゲーター機能・車検・  
始業終業点検・保険・体調の管理・運転技能レベルの維持向上等・・・
- 5) 情報＝「内部情報」として、燃費、燃料残量、乗っている人のトイレ・食事の必要時間、  
目視や五感で観じる走行速度・バックミラーに映る車内外の風景・異音や振動の情報等があります。

「外部情報」として、道路情報・天候・SSのある場所、同じルートその他の交通機関の状況等、

リスクとなる情報がありますが、運行の流れと安全性のためには、  
「外部情報」の認識は大事で企業経営では、経営環境にあたります。

この5つの経営資源の現況を、総合的に判断して、ドライバーは目的地に、

安全に予定された時間に着くように、計画し準備してドライブするわけです。

\* 前項では自動車運転に例えて、経営資源（人・モノ・金・しくみ・情報）とは何かを解説しました。  
企業経営と「生業・家業」とは、全く経営のやり方が違いますので、その点を十分に認識してください。

・「企業」とは、他人を採用して毎月給与を支払う等の社会的責任を果たしている、

規模の経営体のことでチームで経営しており、「経営資源のトータル利活用」が求められるレベルです。

- ・「生業・家業」は一人乗りのオートバイのように、機動力はありますが、ドライバー等のスタッフスペアがない経営体で、管理は資金繰りだけでも十分に対応する事が可能です。
- ・皆様の企業規模は何人を乗せて走る自動車でしょうか？「軽」か「ワンボックス・ワゴン」か「小型バス」か「大型バス」か、何人乗りでしょうか？

どの大きさにしろ、従業員や家族等をのせて、目的地に向かいますので、乗っている人達を安全にかつ、 予定した時間に到着させるかが課題であります。

◆ここではスキーツアーに行くイメージで話を進めましょう。

1) まずドライブプランを立てます。(経営計画や事業計画立案に該当します)  
何人が乗るのかで車の大きさを選択し、ドライブルートの確認と、SSがどこにあり燃料補充はどこで行うかを確認します。

タイヤやチェーンの装備の方法や、食事・休憩のタイミング等の安全運転の条件を立てて情報を共有化して、リリーフ体制を確認して万ーに備えます。  
更にはドライバー の腕と経験は、十分か？等々も確認しましょう。

2) 次に始業点検を十分にします。(販売・生産等や起業・創業の準備に該当します)  
車やタイヤの点検。天候や道路情報。  
乗る人の参加の変動や健康状態。持参する積み込み物の数量の確認等、  
内部・外部情報を正しく把握します。

始業点検は、「念には念」を入れて、ダブルチェックを励行しましょう。

★現実には、企業経営の運転免許はありませんが、無免許なのか、  
仮免や双葉マークのレベルなのか、 違反常習者や事故多発者なのかは、  
「経営会計」データ(決算結果)と「ビジネススコア」で判断 できます。

免停や取り消しのレベルでもあるかということも、明確にデータに表れます。

最近では高齢者（70才以上）は、適正検査を受けないと免許更新ができなくなっており、公道における事故発生を予防しています。

（企業経営では経営者自身の判断で、伴走者やアドバイザーの検査（評価）を受けることに該当します。

### ★ワンポイント・レッスン★

自分の免許レベルが、どのレベルにあるかは、自己判断と共に信頼できる伴走者やアドバイザーに評価してもらいましょう。

資金調達を断われたり、協力者・コアー人財が途中下車してしまうのは、その車（企業）に乗って いられないとの警告サインなのです。

~~~~~  
『合本主義「義利合一」の時代がきている』 Amazon 電子書籍版

渋沢翁が実現しなかったヴィジョンを、「HosBiz 理念経営」が継承します！

担当：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本 靖夫

本記事に対するご質問やご感想は下記アドレスまでお願いいたします。

heart_gaia_gi@hosbiz.net

~~~~~  
バックナンバーは下記の URL を確認してください。

■ #608号・・・23・07・07（金）・・・バックナンバー・・・

[https://rinenkeieishi.net/mail\\_magazine/hayabusa.php](https://rinenkeieishi.net/mail_magazine/hayabusa.php)

~~~~~ 次回予告 ~~~~~

皆様のコメントを励みにして、航海を続けていきますので、重ねてご支援ご鞭撻を

よろしくお願いします。

◆次号 第610号 23・07・21（金）は、
渋沢栄一翁が提唱する『合本主義＝義利合一』を体得して、100年企業になる時代がきている
◇中小企業・小規模企業の経営支援の現場における、50年間の「伴走者」の経験知でお話します。

- ・第3回 赤字でも「キャッシュ」があれば倒産しない。人時生産性No.1がキャッシュを生むコツを、お話します。 予告なく変更する時がありますので、ご承知ください。

■ 渋沢栄一が実現したかったヴィジョンを「HosBiz 理念経営」が継承します！

担当：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本 靖夫

■小規模企業・中小企業で働く人々や、経営者が幸せでなければ、
私たちは「世のため・人のため」になれない

平本靖夫、50年の経営支援家人生の集大成 第1弾！
『合本主義「義利合一」の時代がきている』

Amazon kindle にて発売中！！

<https://www.amazon.co.jp/dp/BOCB9M6D2T>

7/9（日）20：00 ～

7/末日（月）19：59 の間

キャンペーン価格の1000円にて購入可能

これを機会に是非お求めください

最後までお読みいただき感謝いたします。本当にありがとうございます。
では、また次号で元気にお会いしましょう！

◆発信日・・・・・・毎週・金曜日

◆発行責任者・・・・・・Captain 平本靖夫

◆編集長・・・・・・岩下一智・(株)I&C・HosBiz センター 執行役員

マーケット・クリエイター(MRC)・・・・CST 開発推進責任者

プロフィール

<https://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#inoue>

Facebook

<https://www.facebook.com/yasuo.hiramoto>

<https://www.facebook.com/MRCkazu/>

ご愛読ありがとうございます

著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本靖夫

プロフィールは

<http://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#hiramoto>

■小規模企業・中小企業で働く人々や、経営者が幸せでなければ、
私たちは「世のため・人のため」になれない

平本靖夫、50年の経営支援家人生の集大成 第1弾！

『合本主義「義利合一」の時代がきている』

Amazon kindle にて発売中！！

<https://www.amazon.co.jp/dp/BOCB9M6D2T>

7/9（日）20：00 ～

7/末日（月）19：59 の間

キャンペーン価格の1000円にて購入可能

これを機会に是非お求めください

キャンペーン価格の1000円にて購入可能

これを機会に是非お求めください

◆はやぶさ・に関するお問い合わせ・質問は
メールアドレス：kazu_zohan@hosbiz.net
発行責任者：Captain 平本靖夫、
編集長：岩下一智 MRC

*配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。
%cancelurl%